

団体名：唐戸魚食塾

活動名：水産都市下関の魚食文化の継承

代表者／ <sup>なかお</sup>中尾 <sup>たかし</sup>孝

所在地／下関市石神町 8-3

## (活動紹介)

### 1 活動の目的

唐戸魚食塾は水産企業関係者、大学関係者、マスコミ、県・市の職員、料理人と多彩なメンバーが企画員となり、卸売市場(下関市地方卸売市場唐戸市場)を拠点に、ボランティアとして水産都市下関の魚食文化の継承や魚食を取り入れた日本型食生活の普及啓発、地元市場の活性化などに取り組んでいます。

### 2 これまでの活動内容

#### ◆ 魚食塾の開催

繁忙期を除く毎月1回、唐戸市場の2階の魚食普及センターで、魚食に関する様々な講義と調理実習を組み合わせた『魚食塾』を開催しています。平成17年の発足以来、開催回数は46回を数え、参加者は延べ1,600人にも上ります。

卸売市場を核とした魚食普及(食育)活動は今では全国的な広がりを見せていますが、唐戸魚食塾の取組はその先陣をきるものであり、平成19年度の国の水産白書でも「先進的事例」として取り上げられました。

#### ◆ 出張魚食塾の開催

子ども達の魚食離れが指摘される中、下関市内の小学校に企画委員が出向いて、魚食について講義を行っています。

#### ◆ 教育媒体の研究開発

各企画委員が専門を生かして執筆したテキスト「魚食のおはなし」のほか、魚食の理解を深めるためのリーフレット(魚食ライフ、料理の安全、三枚おろしの解説、アンコウのさばき方)を作成しています。

#### ◆ 企画委員間の連携活動

企画委員が所属している大学に他の企画員が講師として出向き、より実践的な講義や実習を行うなど、企画委員間の連携を活かした活動も行っています。

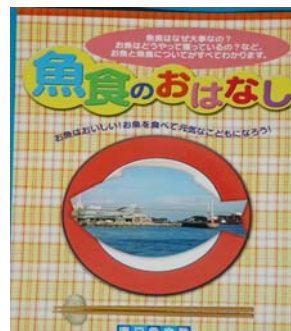
### 3 活動の展望

本年6月に山口県では初めて、また水産関係としては全国で初めて内閣府の食育推進ボランティア全国表彰を受賞しました。今後は他の団体とも積極的に関係を図っていきたいと考えています。

また、活動を一層強化するために、NPO等の法人化についても検討しています。



【魚食塾の開催】



【テキスト「魚食のおはなし」】